

バグダッド 日 誌 (7月4日)

○バグダッド連絡班の微妙な緊張感解消！(食べ物のうらみは恐ろしい？後日談)

日本やサマーワから送って頂いた日本食の残りが少なくなり、微妙な緊張感がバグダッド連絡班内に生じ始めていることを先日紹介した。ところが思ってもみない朗報が[REDACTED]からもたらされた。

日本隊のコンテナがあるキャンプ・ヴィクトリーに隣接するキャンプ・リバティーのPXに日本のカップ麺(カップ・ラーメンのラベルも日本語)が販売されているのを[REDACTED]が発見してきた。

種類は日本でもおなじみのチキン・ラーメンやどん兵衛など5～6種類あり、値段も1.5～2ドルぐらいで値段も日本で購入するのとさほど変わらない。アメリカ製のあまり美味しくないカップ麺は30～50セントで販売しているのに比べると割高感はあるが、米兵の間でも人気で飛ぶように売れていると[REDACTED]が興奮気味に報告する。

たかがカップ麺ぐらいのことで騒ぐ必要はないのだが、今まで生じていた緊張感は、単にバグダッド連絡班が食いしん坊で、やや食べ物に固執してしまう特性から生じていたものと思われる。これで我々バグダッド連絡班内の日本食に対する緊張感が一気に解消し「鉄の団結」も盤石である。

[REDACTED]